

銚子川の水中蜃気楼

武田 康男（日本気象予報士会）

三重県銚子川は水がとても透きとおりで、河口付近では川の淡水と海の海水の逆目が見られ、「蜃気楼のようなゆらゆら帯」と言われている。蜃気楼に似た像のはっきり示したものがないので、水中にカメラを入れて確認した。

日時：2021年3月23日 午前10時頃

場所：三重県北牟婁郡紀北町の、銚子川河口から600mほど上流地点の岸壁を、水の流れや撮影のしやすさから選んだ。



方法：水中でも使えるカメラ（OLYMPUS Tough TG-5）を、釣り竿を改良したものに付け（最大5m程度まで伸びる）、川底までカメラを往復させ、4K動画で撮影した。



結果：淡水と塩水の境界付近で、川底の草が上位蜃気楼のように、上へ伸び、上方で反転した像を確認できた。



←淡水

←塩水

考察：・下が塩水、上が淡水の境界があり、水槽に塩水を入れて行う上位蜃気楼の実験と同じ見え方であった。

- ・水が澄んでいれば、全国の河川でもこうして撮影できるだろう。
- ・水中に潜るのは準備（費用）が必要で、危険もあり、このような撮影も有効である。